

感染症・食中毒にご注意ください

問健康政策課 東 1階 TEL (23)8975

症状があるときは、早期に医療機関を受診してください。

<夏に多い感染症>

感染症予防の基本は、日頃から手洗い、うがい、栄養、睡眠をとることです。感染症にかからないよう、体調管理に努めましょう。

病名	潜伏期間	症状	予防対策
★咽頭結膜熱 (プール熱)	5 ～ 7 日	39～40℃の発熱、のどの痛み、結膜の充血、目やになどの症状が3～5日間程度続きます。プールを介して流行することがあることから「プール熱」とも呼ばれます。	手洗い、うがい プールの前後にはシャワー、洗顔、うがいを励行しましょう。 タオル・ハンカチの貸し借りは避けましょう。
★ヘルパン ギーナ	2 ～ 4 日	突然の高熱(38～40℃、1～3日間)と、のどの痛みが現れます。口の中に小さな水ぶくれができ、やがて破れただれて痛みを伴います。高熱による食欲不振、全身のだるさがみられます。	手洗い、うがい タオル、ハンカチの貸し借りは避けましょう。 おむつ交換など便を扱った場合、しっかり手洗いをしましょう。
★手足口病	3 ～ 4 日	手・足・口の中に小さな水泡ができます。ときにかゆみを伴い、発症者の3分の1に軽度の発熱がみられます。ごくまれに、髄膜炎、心筋炎などを生じることがあります。	手洗い、うがい タオル・ハンカチの貸し借りは避けましょう。

<食中毒>

肉の生食や、加熱不十分な調理を原因とした食中毒に注意しましょう

原因となる菌	潜伏期間	症状	予防対策
腸管出血性 大腸菌 (O157 など)	3 ～ 5 日	激しい腹痛、発熱、水様性の下痢などで、尿毒症や意識障害などの重篤な症状になることもあります。乳幼児や高齢者など免疫の低下している方は、特に注意が必要です。 ▶生肉に使った調理器具により汚染された食品も原因になります。 ▶わずかな菌数で発病することがあります。	【ご家庭での食中毒予防】 食中毒予防の原則は、次の3つです。 ①細菌を付けない ・手洗いと洗浄 ・肉などを触った手や包丁では生野菜は触らない、切らない ・肉、魚、卵などを扱う前後は手を洗う ・包丁、布きん、まな板など使用後は、洗ってから熱湯をかけると消毒効果がある ②細菌を増やさない ・調理したらすぐ食べる ・室温に長く放置しない ③細菌をやっつける ・加熱調理(加熱・殺菌) ・加熱して調理する食品は十分に加熱する
カンピロ バクター	2 ～ 5 日	38℃を超える発熱や、嘔吐、頭痛、倦怠感などの、かぜに似た症状があらわれ、その多くに水様性の下痢の症状がともないます。重症例では急速に脱水症状を起こすことがあります。一般的な食中毒よりも潜伏期間が長いことが特徴です。 ▶鶏肉の生食や加熱不十分な調理などが主な原因になります。	

★は、乳幼児に多い病気です。

地域情報通信基盤整備推進交付金事業の事業評価の公表について

平成20年度に地域情報通信基盤整備推進交付金を活用して両郷および須賀川地区にブロードバンドサービスを開始してから5年が経過したため、事業評価を実施しました。

※地域情報通信基盤整備推進交付金および公表資料の詳細については、ホームページをご覧ください。

☞ <http://www.city.ohatawara.tochigi.jp/docs/2015062600042/>

問情報政策課 A 2階 TEL(23)8959

ふれあいの丘天文館の臨時職員を募集します

●職務内容…事務補助 ●募集人員…若干名

問申生涯学習課 生 TEL(23)2100

●勤務地…ふれあいの丘天文館

●勤務時間(シフト制)

▼日中…午前8時45分～午後5時45分の間で6時間

▼夜間…午後5時45分～午後8時45分(入館者がいる場合は午後9時45分まで)

●賃金…時給750円(夜間 938円)

●応募資格…土曜日、日曜日、夜間出勤できる方

●任用期間…10月1日(木)～平成28年3月31日(木)

●応募方法…8月25日(火)までに上記へ申し込み。